

国土交通経済（平成14年11月・12月分）の概況

【公共工事受注（12月）】

～総じて低調に推移。

← 公共機関からの受注工事額は、平成14年4-6月期は対前年同期比10.8%減少、7-9月期同4.6%減少、10-12月期同1.6%減少。

【住宅建設（12月）】

～緩やかに減少。

← 新設住宅着工戸数は、総計92,814戸で前年同月比3.4%減少（2ヶ月連続、4-12月累計は前年同月比2.4%減少）。

季節調整済み年率換算値の推移をみると、14年4-6月期1,175千戸、7-9月期1,136千戸、10-12月1,125千戸と緩やかに減少している。

【民間非住宅建設（12月）】

～基調としては減少。

← 民間設備投資の先行指標である民間非居住用建築物着工床面積は、店舗・工場は増加したものの、事務所・倉庫は減少し、全体で前年同月比12.8%減少（2ヶ月連続、4-12月累計は前年同月比4.4%減少）。

【貨物交通（11月・12月）】

（1）国内輸送

～鉄道は減少。トラックは概ね横直し。航空は基調としては減少。

← トラック（特積）は、11月前年同月比2.3%減少（2ヶ月連続）となった。トラック（一般）は、11月同0.2%増加（2ヶ月連続）。宅配は、10月同1.2%減少の後、11月同0.1%増加となった。鉄道は、11月同1.3%増加の後、12月同1.5%減少となった。

航空（速報：3社）は、前年9月に発生した米国同時多発テロによる影響の反動増により、12月同4.5%増加（4ヶ月連続）となった（前々年同月比13.0%減少）。

（2）国際輸送

～航空は、輸出入ともに増加。

← 外国航空会社を含む航空貨物量（速報：成田・関空調べ）は、輸出が12月前年同月比25.9%増加（9ヶ月連続）となり、輸入も12月同9.5%増加（6ヶ月連続）となった。我が国航空会社の輸送量（速報5社：輸出＋輸入）は、12月同11.3%増加（10ヶ月連続）となった。

【旅客交通（11月・12月）】

～鉄道は減少。国際航空は基調としては減少。国内航空は堅調に推移。

← 鉄道は、JR6社が11月前年同月比1.1%減少（2ヶ月連続）となった。民鉄は、11月同1.1%減少（8ヶ月連続）となった。

国際航空（邦社）は、米国同時多発テロによる影響の反動増により、12月同24.7%増加（4ヶ月連続）となった（前々年同月比5.1%減少であるが、平成14年前半に比べ、減少幅は縮小している）。国内航空（速報：9社）は、12月同6.6%増加（5ヶ月連続）となった。

【観光（12月）】

～国内旅行取扱額は低調に推移。海外旅行取扱額も基調としては減少。

← 国内旅行取扱額（主要50社）は、12月同2.3%減少（10ヶ月連続）となった。

海外旅行取扱額（主要50社）は、米国同時多発テロによる影響の反動増により、12月前年同月比61.0%増加（4ヶ月連続）となった（前々年同月比4.5%減少であるが、平成14年前半に比べ、減少幅は縮小している）。

なお、入国外客数は、12月同8.1%増加（11ヶ月連続）となった。